

気をつけて!

石油ファンヒーターをつかっている部屋で

シリコーン配合の ヘアスプレー等を 使用しないで!

**故障の原因
になります。**



シリコーンが原因で故障したときの 判断方法 (ファンヒーターの状態から)

温風吹き出し口が
白くなっている。



バーナヘッドや炎検知器が
白くなっている。



シリコーンの吸い込み量が多いと、温風吹き出し口にシリコーンが付着し白くなり目視で確認できます。シリコーンの吸い込み量が少ないと、温風吹き出し口のシリコーン付着は少なくなります。正確な判断を行うためにはバーナ部を外す必要があります。

揮発性シリコーンが発生する原因

家庭内で使用する多くの製品にシリコーンが使用され、その用途は様々です。具体的には次のような製品に使用されており、揮発性のシリコーンが徐々に空气中に放散されていきます。

●化粧品類

ヘアトリートメント、枝毛コート剤などのヘアケア製品、保湿用などのクリーム等

●衣類や繊維類の撥水剤・柔軟剤等

防水スプレー、アイロン用スプレー、静電気防止剤、しわ伸ばしスプレー等

●家具・床等の艶出し剤、保護剤

【ご注意】

全てのメーカーの製品に配合されているとは限りません。また、影響度は揮発性、配合量、使用量などにより大きく異なります。

**ご注意
ください!**

シリコーンが原因による故障の場合

修理は保証期間内でも有料になります。

揮発性のシリコーンが器具に吸い込まれると、シリコーンが炎で酸化されバーナヘッドや炎検知器に付着します。その結果、正常に炎検知できなくなり、右のような症状が現れます。

石油ファンヒーターには、安全装置の一つとして「炎検知器」が取り付けられており、常に炎の状態を監視しています。バーナヘッドや炎検知器にシリコーンが付着すると正しく検知できなくなり、炎が正常であっても消火させてしまうことがあります。

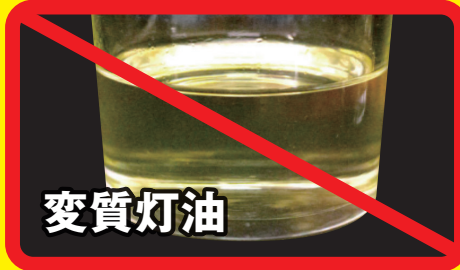
- 点火ミスが起こる。
- 途中で消火する。(特に火力が弱いとき)



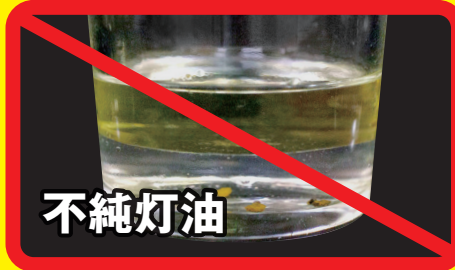
気をつけて!

石油ファンヒーターの燃焼に悪影響を与えます。

不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用しないで!



変質灯油



不純灯油

故障の
原因
になります。

変質灯油を使用したときの症状 (ファンヒーター)

- 点火の時、火がつきにくい。あるいは、火がつかない。
- 点火する前に、白煙が出る。
- 正常に燃焼せず、臭いがきつく目にしみたりする。
- 燃焼途中で、火が消える。
- 消火後、いつまでも臭いがする。

変質灯油を使用しても、バーナの外觀は正常な状態と変わりません。



バーナ内部にはタールが溜まり、この状態だと、灯油が正常に気化しません。



灯油が変質する原因

「灯油は生もの」です。

下記のような状態で灯油を保管すると、灯油が変質することがあります。

- 昨シーズンからの持ち越し灯油の保管。
- 日光の当たる場所や高温の場所での保管。
- 容器のふたを開けたままの長期間の保管。
- 購入直後の灯油であっても、変質灯油が残っている容器での保管。

ご注意ください!

変質・不純灯油による故障の場合

修理は保証期間内でも**有料**になります。



灯油の保管方法



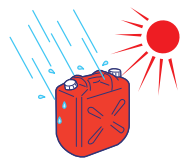
良い保管

直射日光が当たらず、雨水がかからない、火気のない冷暗所に保管。



悪い保管

昨シーズンからの持ち越し灯油。直射日光や、雨水がかかるベランダなどの保管。



- 灯油の保管には、灯油用として推奨マーク付(日本ポリエチレンブロー)が市販されていますので、そちらをお選びください。

※灯油の変質は、「酸素」と「光」で促進されます。従って、灯油を変質させないためには、これらを遮断する必要があります。灯油は、冷暗所で密閉容器(灯油保管用)に入れて保管する必要があります。



※乳白色のポリタンクは水用です。